

開講科目名 / Course	地域看護学概論	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 3 学期 / Third	
開講区分 / semester offered	3 学期 / Third	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	小野 治子	
担当教員名 / Instructor	小野 治子、川南 公代、首藤 佐織、高木 優衣	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	地域で生活する人々や家族の暮らしと健康を支えるために必要な地域看護の基礎を学ぶことを目的とする。地域看護の概念や特徴、予防の考え方を理解し、人々が暮らす地域の特性や生活の多様性について学習する。さらに、病院・施設・在宅など様々な場において、健康の保持増進や疾病予防の視点を踏まえ、生活を支える看護師の役割や機能について理解を深める。	
到達目標	1. 地域看護の概念や特徴、変遷について、説明できる。 2. 予防の概念および健康の保持増進と疾病予防について、説明できる 3. 看護の対象が暮らす地域の特性と人々の生活の多様性について、説明できる。 4. 地域において看護職に求められる役割や機能について、説明できる。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探究心と創造力	
授業計画	01. 地域看護学の概念と機能 02. 公衆衛生の意義と考え方（プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーション） 03. 地域看護学の歴史とこれからの展望、諸外国の地域看護と日本の現状 04. 地域看護活動 : 地域看護活動の対象 05. 地域看護活動 : 地域看護活動の場 06. 地域看護活動 : 地域看護活動の方法 07. 地域看護活動 : 地域包括ケアシステム 08. 地域看護の活動事例	
その他の授業の工夫	講義を中心とし、グループワークや意見交換等を取り入れる。 学生自身の生活や身近な地域を題材として理解を深める。	
時間外学修	事前学修：次回の講義内容や配布資料、テキスト、その他関連書籍を用いて予習する（7h）。 事後学修：毎回の講義を振り返り学びをまとめる。配布資料やテキスト、その他関連書籍を用いて復習する（15h）。	
評価方法と評価割合	試験：80%（試験の受験資格は、出席が6回以上であること） 提出物：20%（初回の講義内でのオリエンテーション時に説明する内容に取り組む）	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 健康支援と社会保障制度2（医学書院）	
参考書		
履修する上で必要な要件	本科目は、地域看護学実習の履修にあたり、単位取得が前提要件である。	
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	小野治子：高等学校・支援学校の養護教諭 川南公代：行政の保健師 首藤佐織：行政の保健師 高木優衣：行政の保健師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	県福祉保健部の医師、保健師
実務経験をいかした教育内容	担当教員が実践してきた保健活動をもとに、講義を行う。県の保健所長の経験のある医師や保健師が講義を行う。	